

「2021 北九州 SDGs 未来都市アワード」
活動概要及び選考委員による評価【市民部門】

賞の種類	活動名	活動概要	選考委員による評価
SDGs 大賞	空き物件を活用した支援付き住宅事業	生活困窮者の課題の一つである住まいの問題を空家の活用につなげ、生活支援を行う活動。 空家問題の解消と生活困窮者の生活基盤を整えることを目的としている。	生活の基礎である「すまう」ことに真摯に視点を持ち、複合的な課題解決に取り組んでいる。「空き家」「生活困窮」との社会問題を結び付け、公的資金を使わず支援している点が素晴らしい。 支援された人の感想などが示されるとさらに意義の大きさが伝わると考える。
	特定非営利活動法人 抱樸		
ESD 賞	SDGs の視点から生活を見直そう！ ～未来の熊西をよりよくするための「私たちの提案」～	6年生の国語の学習で SDGs の視点から生活を見直すための提案書を作成。提案書は市民センターに掲示、学校前では、SDGs の目標達成を呼びかけるポスターの掲示を行い、地域の方々に呼びかけ、生徒自身も実践者としての意識を高める。	できることから行動に移すという生徒の意識に変化が表れている。地域の ESD 拠点である市民センターを SDGs のハブとして活用し、地域への波及を行っている。 他学年への影響や連携があるとさらに良い。
	北九州市立熊西小学校		
	洞海湾！絶滅危惧植物再生プロジェクト	洞海湾奥にある干潟でみつかった貴重な塩生植物の保全と居心地の良い海辺空間を創造するため、干潟の清掃活動を行う。保全活動と並行して市民が集う憩い空間を創出し、イベント等で地域活性化を図る。	専門的知識と活動を通じ、市民参加型に特化して、環境保全に寄与できている点が良い。関わった学生自身が成長を実感していることが分かる感想があるとさらに良い。
	九州共立大学・TEAM 洞海湾		

「2021 北九州 SDGs 未来都市アワード」
活動概要及び選考委員による評価【市民部門】

賞の種類	活動名	活動概要	選考委員による評価
SDGs 賞	「竹の環境循環プロジェクト」 Ecology（環境保護）と Economy（経済）の W エコ循環	地域課題となっている放置竹林について、竹が CO2 を吸収する再生産性の非常に高い再生可能資源と捉え、竹を原材料とした商品や技術を開発、実用化で地域産業に展開。地域課題・環境・地域企業に対して三方良しの Ecology（環境保護）と Economy（経済）の W エコ循環、自然とテクノロジーの共生を目指している。	幅広い組織・教育機関との連携、多彩な竹活用方法など、創意工夫と実践力がある点が良い。バックキャストिंग的思考が生かされている。 全国的な課題であり、商品化に向け頑張っ て欲しい。
	一般社団法人森人未来ノ研究所		
	川と森を守り持続可能な社会に繋げる 「竹パウダープロジェクト ～つなげよう、ふるさと『すがお』」	川を守るためには森を守ることが必要であることを理解し、地域での課題となっている放置竹林の問題に取り組んでいる。地域の方々や団体と繋がりながら、竹を活用した野菜づくりに挑戦し、情報発信を行っている。竹を「すがおの宝」にするため、全校生徒で課題解決に取り組んでいる。	河川の環境と森林保全との関係に着目している点が良い。「竹害・竹財」との捉えによりデメリットを解消し、メリットを生かす問題解決思考を育成できる。 他学年への連携や流れといった発展があるとさらに良い。
	北九州市立すがお小学校		
	第三回小倉城竹あかり	農村部で問題となっている放置竹林の竹を竹灯籠、竹紙にし、観光に生かす活動。今回は「世界体操・新体操選手権北九州大会」に合わせて小倉城に飾り、北九州市の PR に寄与した。地域の問題の解決と活性化・資源化を図り、持続可能な社会への意識向上と北九州の「市民力」でまちの活性化を進めたい。	本プロジェクトを通じて様々な世代の人たちが関わり、SDGs の目標に幅広く関連している。北九州の風物詩として定着しつつあり、地方創生の一翼を担っている。 量的・質的成果が示されるとさらに良い。
	小倉城竹あかり実行委員会		

「2021 北九州 SDGs 未来都市アワード」
活動概要及び選考委員による評価【市民部門】

賞の種類	活動名	活動概要	選考委員による評価
SDGs 賞	つながる・つなげる・合馬の魅力 ～合馬神楽、農業体験、交流体験～	合馬子ども神楽や竹細工、竹札かけ等の文化体験、稲作や野菜作り等の農業体験学習を通じ、地域との繋がりの中でシビックプライドを育みながら、自分の思いや感謝の気持ちを表現できる児童の育成を目指している。	自然、伝統など地域性のある活動に地元の人たちともに全校で取り組んでいる。学校全体での取り組みとして各学年につながり、モチベーションの維持と継続性が担保されている。 他地域へのPRや波及があるとさらに良い。
	北九州市立合馬小学校		
SDGs 賞	「北九州もったいないっちゃ！すごろく」を遊んで、北九州の特産物や名所、現代の環境問題について学ぼう！	小学生が遊び楽しみながら、北九州市の特産物や自然名所、現代の環境問題について学ぶことを目的にすごろくを制作。すごろくで遊ぶことで、環境についての学習意欲の向上を図る。制作過程では学生の多面的に考える力などを養いながら、北九州市への理解、関心を高めている。	学生の主体的な活動で、行動・意識の変容が見られる。遊びを通じて北九州の魅力が学習できるところが良い。 すごろくの発展的な活用方法を提示して広げてほしい。
	北九州市立大学 三宅ゼミ		